

## 第9回 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議 議事要旨

### 1 開催日時

平成28年（2016年）4月27日（水） 午後1時30分から午後3時15分まで

### 2 開催場所

吹田市役所 低層棟3階 研修室

### 3 構成員出席者

吹田市医師会 川西会長、御前副会長 吹田市歯科医師会 千原会長

吹田市薬剤師会 大森会長、 摂津市医師会 大浦副会長

摂津市歯科医師会 喜島常務理事、 摂津市薬剤師会 石田会長

国立循環器病研究センター 峰松病院長、西辻企画戦略局長、桑島政策医療部長

市立吹田市民病院 衣田総長、前田事務局長

大阪府吹田保健所 谷口所長、 大阪府茨木保健所 高山所長

摂津市 堤保健福祉部長、平井保健福祉部理事、摂津市保健センター 福永事務局長

吹田市 米丸特命統括監、乾健康医療部長、石田地域医療・保健施策担当理事

### 4 構成員欠席者

摂津市医師会 細川会長

### 5 案件

(1) 4街区駅前複合商業施設について

(2) (仮称) 健都ライブラリーについて

(3) その他各事業の進捗について

① 健都2街区高齢者向けウェルネス住宅

② 健都イノベーションパーク

③ 北大阪健康医療都市におけるスモークフリーの取組

④ 緑の遊歩道

⑤ おおさか・すいたハウス

(4) その他

### 6 議事の概要 別紙のとおり

第9回北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議を開催します。本日はお忙しい中、御参集いただきまして、誠にありがとうございます。まず、委員の変更を御紹介させていただきます。国立循環器病研究センターに峰松病院長が新しく着任されています。また、摂津市の平井保健福祉部理事も新たに着任されています。手前どもの話になりますが、吹田市では4月の組織改正がございまして、健都のまちづくりも含め担当をする健康医療部が作られております。参考資料2に組織改正についての説明資料を入れさせていただきます。また、組織改正に伴い、職名の変更がございまして、以前からこの会議に出席をさせていただいております乾が健康医療部長になっておりまして、石田が地域医療・保健施策担当理事となっておりますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

第8回会議の議事要旨を机上に配付をさせていただきます。一度確認の御連絡をさせていただきますが、こちらの内容でホームページに出させていただきますと考えています。またこの議事録につきましては、これまで前回会議の議事内容を確認していただいて、次回会議の冒頭でこの内容でホームページに出させていただきますということで確認をしておりましたが、これからどのぐらいのペースで会議があるのか分かりませんので、会議が終わってから、皆様に御確認させていただきます。皆様がよろしければその段階で随時ホームページに出させていただきますと思っておりますので、御了承いただければと思います。それから、お手元にホッチキス止めで右肩に2016年3月16日と日付が入っている資料があると思います。先日、市民団体の方がいらっしゃって、この会議の委員の皆様にも見ていただきたいとのことで、我々の方で受け取っておりますので、御参考までに机の上に置かせていただいております。

それでは議事に入らせていただきます。本日の議事ですが、議事次第にもありますように、主には4街区の駅前複合商業施設につきまして、お話をいただきたいと思っております。それから二つめに、吹田市で健康増進公園の策定を進めております。公園というのは、夏暑くて、冬寒い、雨が降ると人が来ないというものですが、そういったことを加味すると、屋根があって、いろんな形で使いやすい施設があった方が健康増進公園の機能を補完してより高められるのではないかと御意見を検討会でもいただきまして、その観点から、健康増進公園の中に健都ライブラリーという、図書館が主なのですが、例えば健康カフェであるとか、健康づくりができる屋内スペース、ヘルスチェックコーナーなど、そちらについての案を御説明させていただいて、御意見いただければと思っています。そして、各事業の進捗ということで、こちらは報告ベースになりますが、最近の健都のまちづくり全体に関する動きについて御説明をさせていただければと思います。

それでは、早速内容に入らせていただいて、議題の一つめでございますけれども、4街区駅前複合商業施設についてということでございます。なお、資料1の駅前商業施設計画概要につきましては、種々の調整が残っている部分が多いため、ホームページ等での公開は致しませんし、会議終了後に皆様の資料についても回

収をさせていただければとお話がありましたので、御了承いただければと思います。それでは、よろしくお願い致します。

A ー資料1「JR西日本からの提出資料（回収資料：駅前商業施設計画概要）」にて説明。

事務局 ありがとうございます。御意見・御質問等はございますでしょうか。

B 今、御説明いただいた件に関してですが、以前直接お越しいただきまして、御説明いただいたので、大体理解できたのですが、その中で少しお願いをしていたことがどうなったのかをお答えいただきたいのですけれども、今回、駅前複合商業施設内に調剤薬局は3か所あるわけですが、3か所調剤薬局があるうち2か所を同じ大手薬局が占めると。そもそも、この商業施設のコンセプトとして地域との連携や地域に対する貢献ということがある中で、摂津・吹田の薬剤師会に関して、公募や声かけがないことに関して、そういった枠を考えていただけないかとお話をさせていただいたわけですが、その件に関してはどうなりましたでしょうか。

A 御提案をいただいているのはお聞きしておりまして、我々としても検討はしているのですが、1階の店舗につきまして、24時間薬の受け取りが可能な調剤薬局にトライしたいと考えておりますが、想定では収支条件はかなり厳しくなると思います。そのため、2階の通常の調剤薬局と合わせてやっていただきたいということで、同じ薬局をお願いをしているところでございます。それを切り分けてしまうと、厳しくなってしまうと思います。今のところはそういうふうにご検討しております。

B 今回の診療報酬の改正で、調剤薬局が非常に厳しい改正を受けている中に、立地条件から人にとということも盛んにうたわれておりまして、24時間薬局の問題について、1か所の調剤薬局で外来を受けながら、24時間することで患者さんのトータルなデータの把握等ができますので、24時間薬局と、外来を受ける調剤薬局を分離させてやるということ自体、実務的なところから見てもナンセンスですし、国の方針からしても少しずれているのかなと思います。

御存知のように、全国の病院でも全て院内処方に戻していく方向性を取る動きが出てきています。なぜかという、一部の大手の調剤薬局が今回のケースのように、1か所を占有してしまっていて、他のところとの連携を一切せずに、一部の企業だけが非常に収益を上げてしまう構造があまりにも露骨に起きてしまっているがために、今回非常に厳しい改正を国ができて、それをやめていきなさい、地域ともきちんと連携して行って、一次・二次・三次の流れに沿って、かかりつけ

薬剤師を作って、トータル的なもので見ていきなさいといった流れになっています。そういった流れからしても、これだけ大きなプロジェクトで、公的連携病院が二つもある真ん中のところで、このありようはいかかなものかなと思いますので、是非これを改善していただきたいのと、いずれにせよここの薬局については、両薬剤師会に必ず加入をしていただき、色々な面での連携をきちんとしていっていただきたいと思いますので、薬剤師会への加入と地域の薬剤師会の方々にも色々な面で門戸を広げ、参画するような機会を与えていただきたいと思います。

C 今回の計画の中の医療パッケージにつきましては、私共が企画全般について、御一任をさせていただいております。今の調剤薬局、クリニックモールの構成につきましても、さまざまな検討をした結果、御承認いただいたという内容でございます。まず、先ほど御質問のありました点につきまして、我々は誘致するクリニックモール、もしくは調剤薬局につきましても、地元の医師会、薬剤師会とも綿密な関係を持って、その指導の下に営業を行う、という基本方針でございます。ですから、クリニックにつきましても薬局につきましても、所属する市町村の医師会、薬剤師会に入会していただく予定でございます。

それから、御質問にありました1階の調剤薬局でございますが、50坪以上の面積を取ってございまして、まず365日、24時間営業というもの実行してみようということになりまして、この大手薬局は全国展開をしていますが、365日24時間営業しているのは、1店舗しかございません。非常に経営上難しい問題が多々ございます。また、在宅投薬ということも含めて、この中に設備を組み込んで、24時間とともに、在宅も力を入れて地域貢献をしたいというようなことで、多少面積も広めに取らせていただいております。2階の調剤薬局につきましては、50坪前後の薬局を2軒用意させていただいておりますが、想定ではございますが、クリニックモールやその他の病院からの処方箋が、おそらく1店舗に200枚から400枚来るのではないかということから、逆算いたしまして、50坪の店舗を2軒作らないと、順調な流れができないのではないかと思います。2軒の調剤薬局を御用意させていただいたということです。地元のお話もございますが、当初からのプレゼンの課題がございますので、その中で明確な指針をお示ししないとプレゼンに採用されないということもございますので、そういう前提のもとに組立てたということで、御理解いただければと思います。

事務局 今、おっしゃられたとおりの事実かとは思いますが、質問の主旨は、プレゼンの機会がそうであったとして、三師会に加入していくのも前提として、その上で、どう地域と連携していくのですか、例えば実際ここに参入しなくても、一緒に催しであったり何か連携などができることを模索していければということかなと、私は聞いていて思ったのですが、そういう観点ではどうですか。

C おっしゃる通りだと思います。やはり、国立循環器病研究センター、もしくは

吹田市民病院の投薬する薬については、3店舗が十分に備蓄してございますので、地域の薬局の皆様が、薬の倉庫代わりにお使いいただいてもいいのかなということは第一に考えております。それから、今仰せのような薬剤師の実務について、お話を伺いまして、煩雑な処方内容とお伺いしておりますので、それにつきましても、薬剤師会の会長様等の御協力を得ながら、地域の皆様と勉強会を重ねてレベルアップを図りたいと考えております。

事務局        そのほか、よろしいでしょうか。

D                2階のクリニックモールを中心にお尋ねをしたいのですが、30平米の診療所とあるのですが、これはどういうことを想定されているのでしょうか。こういったものが診療所として成り立つのかといったことが1点と、それとは別にクリニックにはこういった診療科のクリニックになるのかはまだ分かりませんが、こういうことは起こってほしくないのですが、例えば新型インフルエンザが発生したときに、クリニックとしてどういうふうにそういう患者に対応できるか、いわゆる感染者と非感染者の動線をクロスさせないとかですね、そういう危機管理上の問題について、個々のクリニックに考えてくださいといっても無理ですので、こういった段階できちんと考えておかななくちゃいけないのですが、その辺はどうでしょうか。

C                インフルエンザの発生等につきまして、基本的には各クリニックモールは科目によりますが、内科系には大体45坪以上の面積を取るようになっておりますので、待合もできるだけ、患者用と一般用で仕分けるような仕組みで設計をしていただけるようお願いをしようと考えております。もし万が一、パニック状態のようなことが発生しましたら、調剤薬局の横にインフォメーションセンターというものをご設置してございまして、看護師のOB等により、患者様の指導をさせていただくということや、またインフォメーションセンター内の後ろに1坪ほどの事務室を設置し、患者様用の待合受付に転用をするということも検討の内に入っております。ご質問の30平米の場所には、このようなインフォメーションセンターを設置しようと考えております。

D                この30平米の場所は診療所ではないということですね。

C                はい。そうです。

A                もともと診療所で計画をしているのですがけれども、診療所よりも、インフォメーションセンターの方が良いのではないかと今検討している段階でございます。まだ図面上の変更はしておりません。

D 例えば、新型インフルエンザが発生した時に、新型インフルエンザを診察して下さる診療科と、むしろ診察をしたらいけない診療科があるわけですね。産婦人科や透析のクリニックなどは避けないといけない。そういったことの議論はきちんとされていて、クリニックの配置を考えておられるのかということが1点と、実際に動線を検討されるとお話しされていましたが、そういうことが今すでにきちんと絵が描けているのか、そういうのができているのであれば、早いうちに保健所に相談してほしいと思います。

C 計画の内容が確定しましたら、保健所にも御相談、御指導を仰ぐようには致しますが、まだ現状はクリニック科目につきましても、医師会様の方に、御出店の御要望があるクリニックの募集をしていただいております。大体4月と5月の2か月間で、ここに出店の御希望があるクリニックがありましたら、声を上げてもらうように考えている状況でございます。まだ全体の構成ができておりませんし、科目の設定もできておりませんので、今おっしゃったような具体的なインフルエンザ対策のところまで計画は至っておりません。

D 確実に決めてしまってからでは遅いので、早めに御相談いただきたいと思いません。

C 分かりました。連休明けにでも、御相談に参ります。

事務局 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。私からも1点だけなのですが、先ほど、大阪府の受動喫煙防止ガイドラインを遵守するとお話しいただきましたけれども、個別の店舗でも分煙ができるようにするのか、あるいは、どこかフロアの1か所だけに集約して喫煙室を設けるのか、その辺りの検討状況はどうなっていますでしょうか。

A はい。お店の大きさによって、店舗の中に喫煙、禁煙を分煙することができる可能な店舗と、もともとの店舗が小さくてそれが不可能な店舗が出てくるだろうと考えております。基本的には喫煙場所というものをしっかりと分けるといふことと、その上で、お店の中でまた喫煙席、禁煙席と分けるといふことであれば、それを分けるといふことで代用していこうと思っておりますが、各テナントさんの顔ぶれが決まっていないことと、具体的に店舗のレイアウトが検討までに至っていないので、そこまでは詰め切れていないというのが現状ということでございます。

事務局 ありがとうございます。今までの議論の流れからすると、委員の皆様の中からは、この施設は完全に禁煙でもシンボリックにいいのではないかと議論も一時期出たような気がしますが、そうは言ってもビジネスの部分もあるので、そこまで

は難しいですかね、という問答はあったように思うのですが、例えば以前ですと、3階の駐車場スペースの一角にでも全施設の中で集約して喫煙室を設けるなど、それぐらいの分煙は最低限やらないといけないのではないかと議論もあったように記憶をしている中で、少し後退したのかなという感じが若干しています。後程御説明をさせていただきますけれども、緑の遊歩道、吹田市域の部分で、摂津市域の部分は相談させていただいているところですが、スモークフリー健都ということで、ポスターの掲示を始めていて、たばこを吸ってはいけませんではなく、たばこを吸うことを止めて健康被害を減らしましょうという啓発活動をここでこれからやっていこうとする中で、まさに中心の商業区域の中で、議論が少し後退するのは残念かなと思います。またその辺の意見交換等をさせていただければと思います。

A 分かりました。引き続き検討させていただきます。

事務局 ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。そうしましたら、先ほどクリニックモールの話も議論の中にも出てまいりましたが、今作成されておられますパンフレット等の状況につきまして、御説明していただけたらと思います。

C ー資料1 「JR西日本からの提出資料」にて説明。

事務局 ありがとうございます。そうしましたら、これに関しまして、何か御質問等ございませんでしょうか。

E この図面を拝見させていただきまして、エレベーターホールがあると思うのですが、それはどちらになりますか。といいますのは、上の階にホテルができますよね。このホテルには吹田市民病院、国立循環器病研究センターの患者さんが宿泊される可能性も考えられます。もし救急になった場合には担架が入ると思うのですが、エレベーターが小さいと担架が入らないこともあるので、エレベーター等の大きさも考慮してもらいたいと思いますが、どうでしょうか。

A ホテルから国立循環器病研究センターなどへのイメージですね。今のところ計画では通常サイズのエレベーターを想定しておりますが、それについて検討はさせていただきます。

事務局 健都らしいゾーンでありますから、車いすやストレッチャーに対する配慮は十分にしてほしいという意見も、今までの会議でも出てきていたかと思しますので、御配慮いただければと思います。そのほかいかがでしょうか。

B 3点ありまして、一つはクリニックモールのところですが、現在どの程度の診

療科が集まってきているのでしょうか。吹田市民病院が以前、この診療科が多い  
ため、競合するかもしれないと言われておりましたが、吹田市民病院との連携、  
調整というのはしっかりと進んでいるのかどうか。せっかく作る場所ですので、  
そういったことがうまくできると地域にとっていいなと思っておりますので、そ  
の辺りの内容を教えていただきたいというのが1点。2点目は店舗ゾーンとして  
色々ありますけれども、ここも合わせて集まりの状況と、どのようなものを集め  
ていこうとなされているのかということも教えていただきたい。3点目は5階部  
分の子育て支援施設等のところにつきまして、これは一つの提案であり、要望な  
のですが、保育所・託児所等のところに関しましては、吹田・摂津の三師会の医  
療機関もそうだと思いますし、国立循環器病研究センター、吹田市民病院もそう  
だと思いますが、女性が働いていることが多くて、やはり待機児童というか、子  
供が預けられないために働けないということが多々ございますので、どういった  
スタイルの託児所にするのかということもありますけれど、できれば医療関係者  
がしっかりと入ることができると、もっと地域の医療、介護関係で活躍する女性  
の機会も増えるのかなと思いますので、その辺りかがかなと思ひまして、御回答  
いただければと思います。

C クリニックモールのお問い合わせ状況につきましては、一応、医師会からお声  
がかかっている件数はおよそ5、6件ございます。それから、こういったところに  
クリニックモールができるという噂を聞き、当社にまでたどり着いて、直接お話  
しをしてこられているところも2、3件ございます。医師会が優先ですということ  
を説明しております。全体で10件程度でございますが、今のところ御入居につい  
ての交渉、もしくは図面のお渡し等は致しておりません。医師会様のお答えと結  
果を踏まえてから一般公募という流れを考えております。先ほどお話しさせてい  
ただきました通り、心療内科と小児科は難しいのかなとは考えております。それ  
から二つめの質問の吹田市民病院との連携でございますが、隣り合わせで医療を  
やらせていただきますので、十分に連携を取っていこうと考えておりますが、ク  
リニックの場合は1次診療でございますが、病院は2次診療でございますので、1  
次診療と2次診療の密接な繋がりは重視してやりたいと考えてございます。それ  
から、説明が漏れましたが、図面の連絡デッキということがございます。調剤薬  
局の前の廊下でございますが、この廊下幅は電動車いすがすれ違っても、十分に  
行き交いができる幅3メートルを取ってございますので、ゆっくりと電動車いす  
でも、行き来ができるように考えさせていただいております。保育所等の件に関  
しては説明を変わらせてもらいます。

A 保育施設についての御質問をいただきまして、こちらに設置致します保育施設  
についてですが、私どもが聞いている範囲では、国立循環器病研究センター、吹  
田市民病院のそれぞれで院内保育施設を御用意される御予定だとお聞きしてお  
りますので、この保育施設については、地域の方々を優先する保育施設ということ



で考えております。もちろん、このクリニックに勤められる医師、看護師が利用されるのを拒むものではなくないのですが、基本的には地域の方が利用される保育施設として考えております。

F 私どもの病院では、非常に多くの看護師さんが働いておられるので、院内保育所を当然整備しますが、そこで仮に院内保育の需要で、まださらに保育施設のキャパに余裕があれば地域に還元するということもありうると思うのですが、逆に自前の院内保育所だけでは、自分たちの看護師の保育ニーズにすら応えられないことも想定されうるわけですから、できれば、我々の希望としては、地域の方に開放されるということも大事なことだと思うのですが、このエリアで働く方々の保育ニーズをある程度優先的にお考えいただくということも是非御検討いただきたいと思っております。

事務局 質問を重ねて申し訳ないのですが、前提として今回の保育で考えておられるのは、認可の保育所なのか、小規模保育所なのか、あるいはこども子育て支援事業の外の認可外の保育所なのか、こういったものを考えておられるのでしょうか。認可保育所や小規模保育所であれば、吹田市に申請をして、保育の必要度認定をしたうえで、入っていただくことにはなりますが。

A 現状はですね、先ほど簡単に説明をさせていただいたのですが、認可の保育所に入っていただくか、いわゆる認可外の保育所に入っていただくかということは決定できておりません。事業者さんがまだ決まっておりませんので。今後、どの段階でどういう話ができるのかというのは、国立循環器病研究センターでも難しいのかなとは思っておりますが、もちろん協力できるところは協力していかないといけないと思うのですが、認可保育所にした場合には、そこは我々の一存だけではご協力できないということになってしまいますので、事前に色々とお話をさせていただければと思っております。

F 制度を超えてというつもりは全くありませんので、可能な範囲で是非ご協力お願いできればと思っております。

G このクリニックモールに入られる医療機関に関しては、国立循環器病研究センター、吹田市民病院の診療を補完するという基本的な考えを最初持っていたと思います。今、このクリニックモールで募集されていて、医師会で手上げがあって、例えば8件のうち、5件を優先で決めました、残り3件は一般公募をされると。その3件の応募が、例えば、全て耳鼻科であった場合について、先に入った5件の中で耳鼻科があった場合には、残りの3件については、耳鼻科を除いて募集するというコンセプトですか。もしくは、とりあえず企業理念に基づいて、なんでもかんでも入れてしまえというわけではないですよね。

C           これまで色々なクリニックモールを作らせていただいておりますが、最近では13科目のクリニックモールを作らせていただきましたが、全て科目は仕分けしております。ただ、内科だけですね、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科と内科を3軒並べております。それは先生方に御了解をいただいてからの構成でございますが、全て1科目、1診、内科だけ重なるということでやらせていただいております。

G           さきほどクリニックモールに入る医療機関は1次診療所だからとおっしゃられていましたが、病院というのは1次診療プラス2次診療もやっているわけですから、完全に競合しないということはありません。そこはきちんと御理解いただきますようお願い致します。

C           了解致しました。

事務局       病院と診療所との連携については、かねてからこの会議の中でも議論の一つとなっておりますので、是非引き続き議論をしてもらえればと思います。ほかはいかがですか。

H           ある程度お分かりかとは思いますが、医師会が積極的に募っているわけではございません。希望される方はどうぞという形で、そこを御理解いただきたいと思っております。今後、科目が決まってきた段階では、競合する科目では医師会としても意見を申し出ていく必要はあるかと思っております。今日は出ておりませんが、今までの会議で国立循環器病研究センターや吹田市民病院からこういう科目にしてほしいというのがすでに出ていますから、もちろんそれを頭に入れてやっていたらと思っておりますので、御理解いただければと思います。外来の機能についてですが、今後、厚労省としては、医療機能の分化ということを考えておりますので、病院が普通の診療所と全く同じということはありませんし、ですから外来であっても、病院の外来診療と、こういうクリニックモールまたは診療所の補完作用というのは、これからますます求められてきますので、内科が両方あるからだめ、内科が2軒あるからだめというものではないですし、二つの病院で少し不足するところがあれば、そういったところを入れてほしいと。そういった意味では心療内科、本当のことを言えば精神科の先生ですが、それがなかなか難しい。その辺りを考えながら、これから協議させていただきたいと思っておりますので、医師会の立場は御理解ください。

事務局       地域医療構想の今後の議論としては、外来の受診率を踏まえたうえで、外来と入院の話というのは分けて数字とかも含めて議論しないといけないというのは、今後のトレンドだと思いますが、そういう意味では国立循環器病研究センター、

吹田市民病院、このクリニックモールをうまく棲み分ける形が模索できればと思いますので、是非、御議論いただければと思います。ほか、いかがでしょうか。最後、私から1点だけなのですが、診療科目の中で、心療内科と小児科はマストでというお話があったのですが、今まで議論してきた中で、一般の歯科についても国立循環器病研究センターと吹田市民病院にはないので、必ず置いてほしいといったことも話があったかと思いますが、その点はどうなっていますでしょうか。

- C その点につきましては、先だっても直接御指摘がございましたし、病院方からもそういった御意見が出たこともございますので、歯科の誘致については、一応開設を前提として、両歯科医師会の会長にお伺いを立てて、できれば歯科医師会のサテライトでお作りいただけないかと御提案を申し上げましたが、歯科医師会としてはそこまで考えていないというお答えでございましたので、一般公募で歯科を開設するという事は決まっておりますが、口腔外科にするのか、どういう科目の歯科を誘致するのかということで、まだ決定いたしておりませんので、一番お役に立つ歯科の科目を誘致したいと考えております。

事務局 ありがとうございます。その辺を両病院との連携の一つの課題かと思っておりますので、是非コミュニケーションを取っていただければと思います。そうしましたら、よろしければ次のテーマに移らせていただければと思います。議題の二つ目でございますが、冒頭申し上げましたとおり、健都の一番西側ですけれども、健康増進公園の機能を補完、価値を高めるという観点で、複合施設の健都ライブラリーの建築を吹田市で検討しておりますので、そちらについて概要を説明させていただければと思います。

事務局 ー資料2「(仮称) 健都ライブラリーの整備について」にて説明。

事務局 今、健都ライブラリーの概要について、御説明をさせていただきましたけれども、今後は皆様から御意見をいただきながらですけれども、役所の中でブラッシュアップをしていって、夏頃までには健都ライブラリーの整備方針というものを作り、それを前提としながら、できれば、今検討中ですが、公募型のプロポーザルなどで設計・発注をして、実際の工事に移っていきたいと思っております。建物ができた後も、是非皆様のお知恵をお借りしながら、この場で絶えず色んな催しが開催できるような健都ライブラリーにできればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。内容等につきまして、御質問等ございましたら、お願いできればと思います。

- I 少し細かい話かもしれませんが、このエリアのICTの環境なのですが、今よく言われるWi-Fi環境ですね、今朝の新聞でも防災の観点からも非常に大

事であると報道されておりましたが、そういったものを用意されるとかのお考えはないのでしょうか。

事務局

ありがとうございます。我々もそこは課題だと思っております、資料2の健康増進広場の整備方針につきましては、大学の先生ですとか、国立循環器病研究センター、吹田市民病院の先生方にも御協力をいただきまして、有識者会議、検討会をやらせていただいて、この整備方針を作っています。その結果を踏まえて、この健都ライブラリーを作りたいという時期にかかっているのですけれども、この健康増進広場の方針を作るための検討会の中でも、さまざまな先生方から、ICTを利用して気軽に健康づくりができるようにと、どうしても飽きやすいというのが、健康づくりの難しさでありますので、そこを乗り越えられるような手軽さをICTで実現できないかという御指摘はいただいております。我々も認識しております、公園内には電気を通すための管自体は下に通しております、そもそもそれがないとICTの設備を入れる時に、入れられないのですが、その管だけは少なくとも準備を進めているところです。今後、例えば地方創生の関係で交付金が貰えるタイミングがないとか、そういったものも視野に入れながら、WiFiを飛ばすことができないかといったことは検討していきたいと思っております。

F

お答えが難しければ、お答えは結構なのですけれども、冒頭の配付資料で御紹介があった遺跡の会の要望で、ゼロ系新幹線の話がでたので思い出したのですが、国立循環器病研究センターにも団体の方が来られまして、発掘された遺跡を展示して見ていただけるような場所を是非という要望がありまして、国立循環器病研究センターからも吹田市に言ってほしいと言われたのですが、もし健都ライブラリーの中で、こういった遺跡についても何らかの形で展示するような余地があるのであれば、大変喜ばれるのではないかと考えておりますので、可能かどうかをこの場で御回答いただかなくても結構なのですが、今後の御検討の中で、是非また頭の隅にでも置いておいていただければと思います。

事務局

施設のキャパシティの問題もありますけれども、頭の片隅に入れておきたいと思えます。

B

二つありまして、一つは自転車とか車いすとかジョギングとかウォーキングの棲み分けですね。これだけ長い距離ですので、公園となるとおそらく自転車が乗り入れてくるかと思うのですが、それとウォーキングの方々がクロスしていると非常に危ないということもあります。また、病院の近くですので、車いすの方々も散歩をしたりとか、そういうことができると思いますので、その辺りの動線の検討をしていただければということが1点。もう一つは健康カフェの内容についてもう少し詳しく教えていただければと思います。

事務局

健康カフェの内容についてですけれども、我々もさまざまな業者、具体的な業者名は出せませんが、報道等によく出ているような健康関係で先駆けている飲食店をされている企業にヒアリング等もしていますし、あるいは関西に根差しているコーヒーチェーンをされているところ等、色々なところにヒアリングをすることか、調査はしています。実際に、どういった事業者になるとかは、平米数が決まるであるとか、賃料をどうするとかが決まってこない、議論が詰めていけないので、まだその段階にはありません。ただ、カフェというのは立地が難しく、カフェ単体であっても、よほど立地が良くないとなかなか人が来ないと。そういう問題もあるので、こういった健都ライブラリー、図書館機能と複合的にすることで、集客力が見込めるようになるという感触等も業者によってはいただいておりますから、そういった市場の動向を見極めながら検討を深めたいと思っております。具体的には、設計がある程度でき上がってきて、平成29年度以降に詳細な中身を検討していくペースになるかなと思っております。まずは健都ライブラリーの設計をしっかりと深めていく段階であると思っております。1点目の自転車とウォーキングの動線の交錯等につきましてですけれども、健都ライブラリーを含む健康増進公園、吹田市の公園については、自転車の乗り入れができない形にしております。ここは低炭素のまちづくりもうたっている街でありますので、できるだけ車の台数はそれほど多くなくて、自転車の駐輪場スペースは少し設けたいと思っております。南側には緑の遊歩道というのが、吹田駅から千里丘駅まで全長3キロにわたってございますけれども、たまに私も遊歩道見に行くのですが、自転車の通行をされているのを見かけるのが非常に残念ではありますけれども、自転車の通行というのは禁止をされていて、歩行者空間となっております。それは吹田市としてもしっかりしたいと思っております。自転車と歩行者というのは公園内外ではきっちりと分けられているのが今の状況です。加えて、この中に少しインパクトがあった方がいいと思ひ、メディカルウォーキングコースという名前にしてはありますけれども、3、4パターンのウォーキングの設定というものをしておりまして、公園を開くときにはパンフレット等を作成しまして案内をしたいと思いますけれども、ここも有識者検討会の中でさまざまな議論をいただいて、ショートコースについては、少しリハビリ的なことも兼ねられるように全面ゴムチップにして、転倒した時のリスクを避けるようにしたりとか、そういった配慮などはしていくことは考えておりますので、また御意見をいただければと思います。工事の過程の中で、反映ができればと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

B 車いすに関してはどうですか。

事務局

車いすの方についても、中に入れないということは無いようにしないとイケませんし、中で活動していただける、楽しんでいただけることは非常に重要である

と思っております、今検討しておりますのは、種植え等の農業の農というものを経験しながら、食を学んでいただけるようなゾーンができないかと考えておりました、そういったところは、車いすの方の視線を意識したような作りをしていくとか、そういった配慮というのは随時していかないといけないかなということ、設計の段階でも検討しているところでございます。中には健康遊具を色々置いて、関西で一番多く置くようなゾーンになると思っております、国立循環器病研究センターや、吹田市民病院の先生に、例えばどういうふうな負荷のかけ方のゾーンがよいか、どの順番で使ったらよいかということも御相談をしながら準備をしているのですけれども、車いすの方が使える健康遊具もあるかと検討もしていたのですが、お一人で来られた時に使うと、転倒等のリスクもあるということで、ゾーン自体を設けることはしないと考えておりますが、そういった視点は忘れずに、これからも進めていければと考えております。

- B            その件に関してですけれども、すでに自転車が走っているところについては、これから自転車が入れないようにポールを立てるなど、ですがベビーカーは入れるような、回転して入れるようなポールにするなどを置くと。ただ、そうすると今度は車いすが入れなくなってしまうなど、非常に難しい問題が交錯するのですが、自転車が禁止区域なら、いっそのこと入れないように措置をして、車いすの方については、昇降機を利用して入ってもらうようなことを検討していただいて、コンセプトを通せるような、厳しいですけれども、性善説に立っても自転車で走る人は走るの、それをしっかりといただければと思います。それでも無理でしたら、海外のように自転車道と完全に分けてしまうのもよいのかなと思います。もう一つは健康カフェなのですけれども、私が以前にオランダの方に視察に行ったときに、こういったような行政が作った建物を民間事業に委託をして、雇用を生み出すと。ただ、民間事業に委託したときに、年配の方、普通の方、リタイアされた方が来られるように、ワンコインとかで糖尿病用の献立や、高脂血症用の献立とか、若い方向けの筋肉増強用の献立など、日替わりではあるけれども、コンセプトに沿ったメニューを作って、そこで若い方も働きますが、リタイアされた方々で、比較的元気な方の再就職先で、ワーキングシェアをして、一人の老人が4時間ずつ3交代をして働くという、ただ作るというわけではなくて、働くことによって、また活躍する機会を与えると。ただカフェではなく、トータル的に、食と雇用が循環的な仕組みを検討していただければと思います。

事務局        ありがとうございます。地方創生関係でも、生涯活躍のまちというのは一つのトレンドでありますから、アクティブシニア作りという観点からも是非検討していきたいと思っております。

- J            この中で議論されることかどうかは分かりませんが、熊本の震災のことがありますので、これだけの大きなスペース、かつ、この大きな病院が二つできるとい

う観点からすると、この大きな地域の中での防災に関する施設というのはどういうふう整備されていくのでしょうかということが気になっております。公園の地下なんかは、大きな備蓄倉庫とかの構想があったりするのでしょうか。もしくは、救急の関係でDMATが集まる場所があって、こういったところで展開をするという構想があったりするのでしょうか。もし分かるようであれば教えていただければと思います。

事務局 A3の資料2を見ていただければと思います。こちらの公園ですが、真ん中のブルーで囲ってありますところは健康増進広場になるのですが、そこから左にある緑の広場を、防災機能を備えた公園として整備しております。場所としては、健康運動ゾーンと文字で書いてあるエリアになるのですが、ここには飲用水を蓄えることができる耐震性貯水槽を埋め込んであります。また、災害時に炊き出しのできるかまどベンチ、マンホールトイレで簡易トイレをすぐに設置できるような防災機能を盛り込んだ広場を吹田市側で整備しております。摂津市側では、明和池公園が同じように防災機能を備えた公園として整備されております。また、これだけの広いスペースがございますので、いざ有事というときには、吹田市民病院や国立循環器病研究センターで災害時に対応される際に、このスペースの活用というのは可能かと考えております。

事務局 はい。それでは、そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。そうしましたら、次の議題に移らせていただきます。後は報告が多くなって参りますけれども、資料の順に沿って説明させていただければと思います。

事務局 ー資料3「北大阪健康医療都市 項目別全体スケジュール」にて説明。

F 我々の方から、修正のお願いをし忘れていたのかもしれないのですが、国立循環器病研究センターの跡地利用の検討についてですが、今の資料でいきますと、国立循環器病研究センターの建設工事を行いながら、跡地利用の検討をするということになっておりますが、北千里の跡地利用について、前倒しをして実施すると予定しております、平成28年度から跡地利用の検討を行います。背景としましては、移転・建替えのコストというものを、当初は大部分を国の財投資金からの借入で賄うと考えていたのですが、財投資金の貸出の管理を行う財務省から財務の健全性、償還の可能性について指摘がありまして、現有地の売却の可能性、時期、金額について、償還の可能性の判断にあたって非常に重要であるとのことで、この計画でいくと跡地利用の検討時期が遅いと監査にて指摘をされておりますので、跡地利用につきましては、平成28年度から行うように変更しております。吹田市には既にその旨御報告をさせていただいております、今後は色々御指導いただきながら、そういう方向で検討していきたいと思っております。

事務局 ー資料4 「健都2街区高齢者向けウェルネス住宅整備・運営事業者の募集につ

いて」にて説明。

－資料5 「健都イノベーションパークの整備等」にて説明。

－資料6 「北大阪健康医療都市におけるスモークフリーの取組について」にて説明。

－資料7 「緑の遊歩道等の全面開通について」にて説明。

－資料8 「おおさか・すいたハウス移転支援募金委員会の開催について」にて説明。

事務局 おおさか・すいたハウスの移転支援につきまして、ここにいらっしゃる皆様が委員になっていただいている状況でございますので、是非方々への周知等、御協力をお願いできればと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。蛇足になるかもしれませんが、1、2年前に、ふくおかハウスが新しくできた際にも、同じように目標として、地元の経済界・医療界が一丸となって2億円を集めたという実績がございますので、我々も決して不可能な額ではないと思っております。ただ、2億円というのは非常に大きい金額ですので、実際に今も入院されている御家族の方、このすいたハウスに宿泊をされて大変助かっているという声もいただいておりますので、御協力の程よろしくお願い致します。今、御説明、御報告させていただきました資料につきまして質問等ございましたらお願い致します。

K 千里丘駅から岸辺駅に新しく広い車道ができておりまして、これはずっと天道に抜けるのでしょうか。これはJR吹田駅までは通らないのでしょうか。

事務局 資料7の図面をご覧ください。千里丘中央線で摂津市から始まりまして、天道岸部線として吹田エリアで矢印が北に向かっているところがあるのですが、ここで産業道路に抜けていただくこととなります。ここからJR吹田駅に向けては、非常に狭隘な道幅となっております。住宅街の中を通れば通行可能ではありますが、狭隘な区間でございますので、道路の御案内としては、天道岸部線を北に上がってもらい、産業道路に抜けていただき、JR吹田方面に向かっている線として設計しております。

K 千里丘と岸部間の道が立派な道なのですが、ほとんど車が通行していないため、もったいないと思っております。これが繋がれば助かると思ったのですが。

事務局 まだ開通して1か月程度ですので、徐々に御存知になれば、交通量が増えてくるかとは思いますが、今後は事業者の工事車両が増える時期にかかってまいりますので、今の時期から迂回をされるよりも、安全に通行をしていただくことを御協力いただければと思います。



L 薬局のことでございますけれども、さきほど、3 薬局のうち、2 薬局は大手薬局ということでございますけれども、以前私は薬剤師会として、本当は府の薬剤師会に 1 軒は入ってほしいと申し出ていたのですが、家賃金額が話にならない。この大手薬局は、全国展開 1、2 位を争うほどのチェーン店でございます。ですから、府薬剤師会としては対抗できないと。市が貸してもらい、それを薬剤師会に貸してもらおうという形が取れないかという意見を言ったことがあるのですが、今回の件は、事業者にお任せして、市が関与しないということでしょうか。

事務局 薬局の開設については自由で、今は距離制限もないですし、行政が介入する余地はありません。4 街区の商業施設の事業者募集をしたときに、事業者がどこであるのかということではなく、こういう機能がありますということで競争をさせていただいて、そのコンペティションの結果、今の事業者が入っている状況でございますから、それに対して行政が口を出すということにはなりえないかなと。一方で、市としてはかかりつけ医師、かかりつけ薬局ということについて促進をする立場にありますから、街の薬局との連携であるとか、そういったものがどうありえるのかは、自分達の問題であると思って、事業者とコミュニケーションを取っていきこうと思っておりますし、薬剤師会にもご相談をさせていただければと思っております。私が言うことではないかもしれませんが、ここの薬局に薬剤師会で駅前に出るというよりも、街中で地域の薬局としての立場を確立していただく方が、役割分担としてはよいのかなと、私個人としては思います。

B 先ほどの説明の補足なのですが、シンプルに言いますと、今回は公募で地域とも連携してもっと広い範囲でと、そういう意味で地域からの参加ということで、医師会、歯科医師会では地元から出てくださいと声をかけてもらっていたのですが、薬剤師会についてはそういった話が一切なかったのですね。ふたを開けてみると、全て決まっているのだと。地元の薬剤師会に声掛けをしてもらっていても、吹田市と協力として府薬剤師会が出られないことも含めて、会営の薬局を視野に入れて検討しておりました。市の薬剤師会が儲けるのではなくて、クリーンベンチであったりだとか、それこそ 24 時間 365 日体制であったりとか、在宅を支援するような拠点とか、それから有事の際に、備蓄ということに関しても、個人の薬局では難しいですので、会営薬局で備蓄ですとか、薬剤師の研修に関しても難易度の高い研修ですとか、そういったものをできる機能をこの商業施設の調剤薬局でできればと。収益をあげられなくても、研修センターとして構わないので、そこで受けて、近隣のさまざまな薬局に処方箋をつなぐということを行うような薬局をできればほしいと思っておりましたので、地盤の薬局、薬剤師会に出店されないですかという打診が事前になかったことが問題ではないかと思っておりました。大手薬局が今後薬局を作られたとしても、今申し上げた条件を満たして、近隣の薬局や薬剤師会と連携して行っていくということになれば、それでも良いかなと思っております。ただ、独占的に行われた場合には、それは声をあげさせて

いただきたいと思っておりますけれども、地域の薬局、薬剤師と共存、共栄をしていく、打合せをしてということになれば、今後協議をさせていただきたいと思っております。

L 国立循環器病研究センターの前の吹田薬局というのは、大阪府薬剤師会が経営をしております、国立循環器病研究センターの備蓄センターとしての役割を果たしていたわけでございます。それがなくなってしまうわけですので、今後商業施設に入っていただく薬局に、そういう役割を、災害時の備蓄の役割も大きいと思いますので、きちっとしていただけるということをお願いしたいと思っております。

C 今、会長がおっしゃられた内容につきましては、十分に理解しております。今後、地域貢献も含めて、細かい打合せをさせていただきながら、運営のプログラムも立てまして、地域貢献ができるような体制をお約束するという事で、御了解いただきたいと思っております。我々は医療ということに携わっておりますので、ビジネス、お金だけという考えではございません。地域の皆様のお役に立つことや業界の皆様と御協力させていただきながら、健全な薬剤業務を考えておりますので、御理解と御協力をいただきたいと思います。

事務局 是非よろしくお願い致します。その他いかがでしょうか。議題4という形で、その他となっておりますけれども、参考資料3、参考資料4についてです。健康増進法の市町村改定時期が吹田市、摂津市ともにこの3月になっておりまして、吹田市では健康すいた21、摂津市では保健福祉総合ビジョン2016を策定しておりますので、概要版ではございますけれども、配付をさせていただいておりますので御覧ください。事務局からお知らせですが、北大阪健康医療都市、いわゆる健都につきまして、ポータルサイトがあるのですが、そちらのURLが4月から変更になっております。検索エンジンで「健都」と調べてもらえれば上位にくるので、それで事が足りるのですが、URLを打ち込む機会があれば、今のURLで打ち込んでいただければと思っております。最後に何か御意見等があればと思いますが、よろしいでしょうか。そうしましたら、以上をもちまして本日の議事は全て終了となります。次回は、夏頃を予定しておりますが、ある程度報告をさせていただけることが出てきましたら、開催をさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。